

広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

4

平成12年
(2000)
月号
NO.521



たらの芽の収穫

鈴木利和さん（大船木）のハウスにて



夢あふれる 町づくり

平成十二年度の町づくりの方針や予算が、三月九日から開かれた三月定例町議会で議決されました。
今年度は、「福祉と健康の町づくり」「定住対策と環境の整備」「産業の振興」「教育の振興」「町民との対話による町づくり」の五本柱を基本とし、次の三点を振興策に掲げ、「夢あふれる町づくり」の実現をめざします。

① 「第四次朝日町総合発展計画」に基づく町づくり

エコミュージアムの町、 町民と行政が協働する町に

二十一世紀を目前にしている今日、地方行政を取り巻く情勢、特に財政面においては大変厳しい状況にあります。

しかし一方では、少子高齢社会に向けた「地域福祉施策の充実」「豊かな心を育むための学校教育の改革」「活気ある町づくりのための定住対策」など、地方

行政の果たす役割は、ますます重要なものになってきています。

このような時期にあたり、時代に即応した町づくりの新たな指針となる「第四次朝日町総合発展計画」の策定に取り組んできました。社会経済の大きな変革期における地域活性化の手法として、エコミュージアムの理



交通安全、ボランティア活動など町づくりに積極的に取り組んでいる婦人会のみなさん

念を継承し、「日本の新しいふるさと」としての魅力を町内外に示し、新たな文化を発信してい

きたいと考えています。

これからの町づくりは、町民と行政がそれぞれの役割りを踏まえ「協働」していくことが重要であり、そのためには、行政のあり方を考え直す必要があります。情報の積極的な公開による、町民に開かれた透明性の高い行政をめざすとともに、生産性や効率性も追求していかなければなりません。限られた財源の重点的配分と経費支出の効率化に努め、経費全般について徹底した節減合理化を図っていきます。

今年度の主な事業

★は新規事業

福祉と健康の町づくり

□健康福祉課

身体障害者福祉事業	
介護用車両改造費補助	三〇万円
日常生活用具給付	五四万円
福祉タクシー券	七二万円
介護費	一、二四〇万円

老人在宅福祉事業

短期入所サービス	一一六万円
デイサービス	二九四万円
ホームヘルプサービス	七五〇万円
★デイサービス移送サービス	五〇万円

紙おむつ等支給

五〇〇万円

愛のベル支給

一六万円

老人家庭除雪費

一四万円

★訪問理美容サービス

三七万円

★配食サービス

一六二万円

老人ホーム入所措置

一、五〇〇万円

介護者激励金

三四一万円

在宅介護支援センター運営費

一、〇二〇万円

敬老金、長寿年金等

三四六万円

★健康福祉センター整備

五〇八万円

成人病予防検診

四、四四〇万円

妊婦・乳幼児検診等

一一七万円

保育所児童措置費等

五、四三〇万円

子育て支援事業

一三八万円

□町民課

チャイルドシート購入補助五〇万円

② 地域活力の創造

豊かで活力ある快適な町に

果樹を中心とする農産物販売の低迷が続く状況の中で過日行われた第一回朝日町りんご生産者大会。各生産者が共通の現状認識を持ち、「朝日町りんご」の確固たるブランドの確立に向けての議論は大変意義深く、りんご産業再生にかける熱意を強く感じました。これらりんご産業を含む中山間地域農業の振興や商工業の振興など、町の産業振興を図っていきます。

定住対策については、人口減少に歯止めをかけることは活気ある町づくりの根幹をなすものであり、最も重要な施策の一つ



より便利に利用しやすくなった町営バス



6月のオープンに向け着々と工事が進むエコミュージアムコアセンター「創遊館」

です。都市部との交流事業や夏まつりに対しては、次代を担う若者たちの自発的な取り組みを主体に、積極的に支援していきます。また、住宅団地グリーンタウン新宿の残り十七区画については、完売に向けさらに努力していきます。

効率的な生活交通体系の確立を図るとともに、町民の足を確保し、安心して暮らすことのできる町づくりをめざして、四月より大沼、水本、三中線のスクールバス三路線で町民タクシーを運行いたします。また、町営バスを含むすべての料金を一回

二百円の同一金額にし、利用者の利便を図ります。

環境の整備および合併処理浄化槽の推進については、公共下水道などの可否について検討を重ねましたが、多様化する町民

③ 町民の生きがいづくり

健やかに安心して暮らせる町に

生涯にわたり心身ともに健やかな生活を送ることは、町民共通の願いです。これまで各種健診事業、軽スポーツの普及などさまざまな保健事業に取り組んできましたが、今年度も積極的な事業を展開していきます。

生涯学習の新たな拠点施設となるエコミュージアムコアセンター「創遊館」が六月に完成する予定です。今後の運営、特に

ホール企画運営については、町民の積極的な参加をお願いし、「生涯学習の町」にふさわしい事業の展開を図っていきます。

学校教育に関しては、いじめ、不登校、学級崩壊など様々な問題を抱え、社会問題化しています。国では、「ゆとりある豊かな心を育む」ための総合学習制度を新設するなど、心の教育を重視した新教育課程が実施されようとしています。当町においてもこの方針に基づき、子ども

の需要や財政状況などを総合的に勘案した結果、合併処理浄化槽一本による推進が望ましいと判断しました。今後は、推進のあり方について早急に検討し、普及を図っていきます。

私たちの健全育成に努めていく考えです。また、宮宿小学校体育館の改築にかかわる予備調査を行うなど教育環境の整備も図っていきます。

介護保険については、これまで要介護認定事業および六十五歳以上の第一号被保険者保険料算定などの諸準備を進めてきました。本事業の導入は、高齢社会の進展にともなう福祉施策の抜本的改革のひとつです。

当町では、介護保険対象外の単独事業として、訪問理美容サービスやふれあい荘のショートステイ利用時の移送サービス、ふれあい給食サービスの新設など、町民の福祉向上を図るために全体的な施策の見直しを行いました。今後さらに強化を図り、高齢者福祉の充実に努めます。

定住対策と環境の整備

企画課

- 結婚記念品 二二万円
- 第三子以降出産祝金 一八〇万円
- 若者交流事業 二五〇万円
- コミュニティ助成事業 (杉山分校跡地整備ほか) 四六万円

町民課

防火水槽整備

(朝日中、杉山、大船木)

- 町営バス運行 一、四九〇万円
- 子ども会資源ゴミ回収 一、六六二万円
- ゴミ収集運搬委託 二、一九〇万円
- 広域クリーンセンター負担金 一億二、五二六万円

建設課

側溝整備

町道整備事業

(小原大隅線(沼向区内)ほか)

八、八六三万円

町道舗装事業

(石須部線(太郎三区内)、針生杉山線(杉山区内)ほか)

一、三〇〇万円

町道維持補修

区道整備補助 七三〇万円

町道除排雪費 一〇〇万円

急傾斜地崩壊対策 四、四六五万円

★生活環境排水路整備 一、〇〇〇万円

合併処理浄化槽設置 六四〇万円

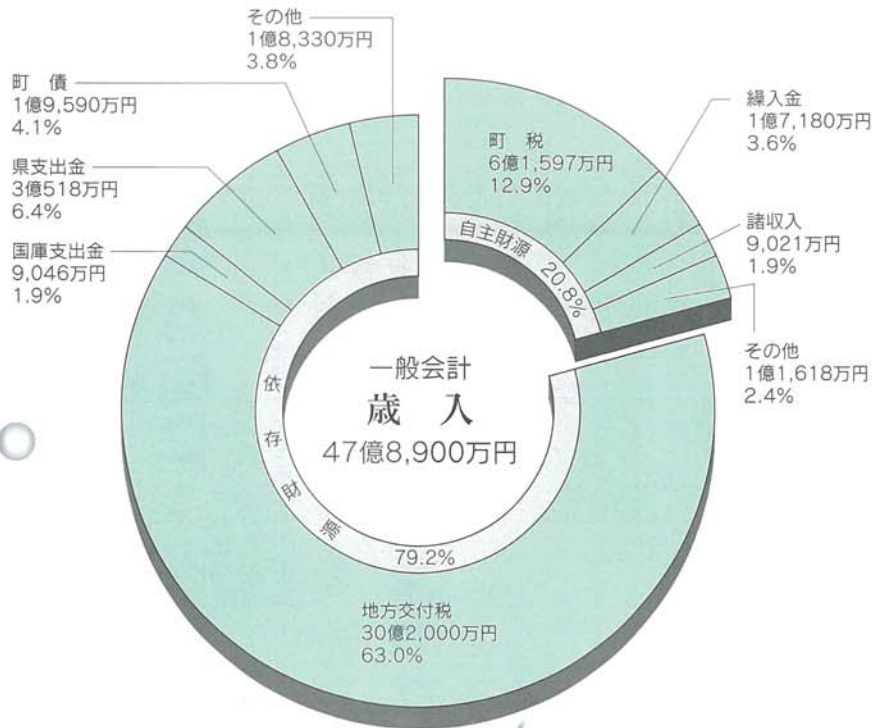
簡易水道整備(白倉) 三、七六四万円

水道事業所

簡易水道整備(白倉) 一、〇〇〇万円

一般会計予算

47億8,900万円



平成十二年度の一般会計予算総額は、四十七億八千九百万円。前年度に比べると三一・一％、二十一億五千七百万円の大幅な減少になっています。主な事業は、健康福祉センターの整備、合併処理浄化槽設置、中山間地域総合整備や学校教育用コンピュータ導入、町立図書館の図書購入など。大谷小学校改築事業を終え、エコミュージアムコアセンター「創遊館」も六月に完成することから、今年度は「財政再建元年」と位置づけ、緊縮型の予算編成を行いました。

■町税の内訳

・町民税	2億2,390万円
・個人	1億9,020万円
・法人	3,370万円
・固定資産税	3億3,027万円
・軽自動車税	1,650万円
・町たばこ税	4,300万円
・入湯税	230万円
合 計	6億1,597万円

一般会計

町民一人あたりで
みると

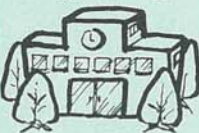
498,441円

●衛生費



55,616円

●教育費



61,478円

●土木費



31,713円

●公債費



107,863円

●総務費



63,178円

●民生費



71,262円

(平成12年4月1日の人口9,608人で算出)

産業の振興

□農林課

農業農村男女共同参画推進事業

二〇〇万円

認定農業者連携事業体育成事業

四三三万円

★特定農山村総合支援基金積立

一、五五四万円

りんご銘柄産地確立対策事業

一、〇〇〇万円

(高接更新補助)

一、一四四万円

高品質りんご生産緊急対策事業

一四四万円

★中山間地域等直接支払事業

八、〇〇〇万円

園芸銘柄産地育成事業

三、八〇〇万円

町単独土地改良事業

一、〇〇〇万円

長根地区農免農道整備事業

一、八四八万円

中山間地域総合整備事業

二、〇一六万円

ふるさと水と土ふれあい事業

一五四万円

杉ノ原地区ため池等整備事業

一〇五万円

八ッ沼水環境整備事業

五五四万円

大谷ほ場整備事業

二、〇六三万円

松くい虫防除

三三三万円

県営林道開設

暖日山線(松程区内)

伏辺山線(白倉区内)

七二四万円

□商工観光課

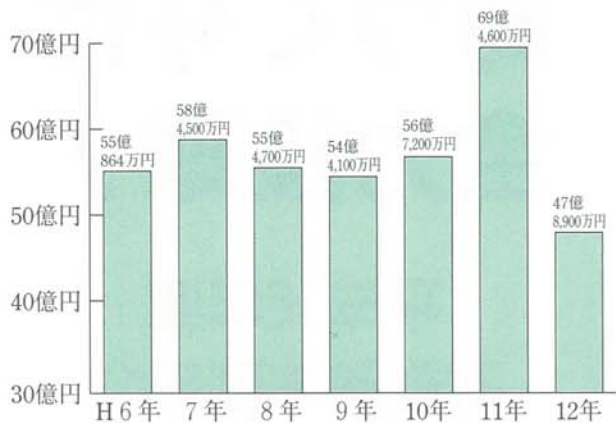
★商店街活性化補助

三〇〇万円

商業経済対策緊急融資

五三〇万円

■一般会計当初予算の推移

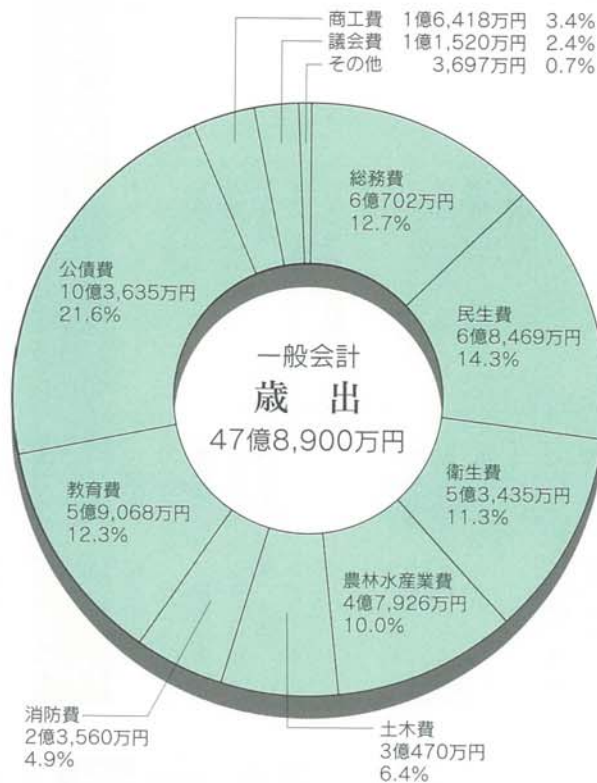


■特別会計・企業会計予算

会計名		予算額
特別会計	集落排水事業	1,700万円
	国民健康保険事業	8億8,710万円
	老人保健事業	12億4,380万円
	住宅団地造成事業	7,001万円
	介護保険事業	4億8,000万円
企業会計	病院事業	収益的収支 8億8,300万円 資本的支出 7,850万円
	水道事業	収益的収支 1億9,350万円 資本的支出 6,950万円



平成12年度



月一回「町長と語る日」を開催
二二三万円

第四次総合発展計画進行管理
二二三万円

町民との対話による町づくり

企画課
創造館エコミュージアムコーナー
管理運営
二〇〇万円

企画課
創造館エコミュージアムコーナー
管理運営
二〇〇万円

生涯学習課
自治公民館整備
(太郎公民館)
図書購入費
一、一〇〇万円
★地域の先生派遣事業
六〇〇万円
文化財保存修繕
大沼浮島、水口観音堂、須ノ瀬
板碑、佐竹家住宅
三三六万円

生涯学習課
自治公民館整備
(太郎公民館)
図書購入費
一、一〇〇万円
★地域の先生派遣事業
六〇〇万円
文化財保存修繕
大沼浮島、水口観音堂、須ノ瀬
板碑、佐竹家住宅
三三六万円

生涯学習課
自治公民館整備
(太郎公民館)
図書購入費
一、一〇〇万円
★地域の先生派遣事業
六〇〇万円
文化財保存修繕
大沼浮島、水口観音堂、須ノ瀬
板碑、佐竹家住宅
三三六万円

生涯学習課
自治公民館整備
(太郎公民館)
図書購入費
一、一〇〇万円
★地域の先生派遣事業
六〇〇万円
文化財保存修繕
大沼浮島、水口観音堂、須ノ瀬
板碑、佐竹家住宅
三三六万円

生涯学習課
自治公民館整備
(太郎公民館)
図書購入費
一、一〇〇万円
★地域の先生派遣事業
六〇〇万円
文化財保存修繕
大沼浮島、水口観音堂、須ノ瀬
板碑、佐竹家住宅
三三六万円

生涯学習課
自治公民館整備
(太郎公民館)
図書購入費
一、一〇〇万円
★地域の先生派遣事業
六〇〇万円
文化財保存修繕
大沼浮島、水口観音堂、須ノ瀬
板碑、佐竹家住宅
三三六万円

生涯学習課
自治公民館整備
(太郎公民館)
図書購入費
一、一〇〇万円
★地域の先生派遣事業
六〇〇万円
文化財保存修繕
大沼浮島、水口観音堂、須ノ瀬
板碑、佐竹家住宅
三三六万円

町づくりに 全力投球！

平成12年度 町職員体制紹介

四月一日付けで町職員の人事異動が発令されました。

今年度は、介護保険制度の施行にともない、迅速で正確な事務事業の推進を図るため、健康福祉課と税務課職員を一名ずつ増員。町立病院内には、在宅医療担当看護婦二名を配置しました。また、町職員の研修をさらに充実させるため、これまでの「文書広報係」を「文書研修係」に、広報広聴業務は企画課に移行し「企画広報係」に再編しました。

職員体制は次のとおりです。主な業務内容と各課直通電話番号も明記しましたので、活用ください。

町長 清野 隆	助役 白井 淑浩	収入役 阿部 晃士	教育長 原 喜内
総務課 (庁舎二階) ☎ 67-2111			
課長 渋谷 一俊	庶務係長 柴田 智子	主任 三浦 浩一	・他機関との総合調整 ・秘書、渉外
課長補佐 鈴木 俊昭 阿部 洋一	主事 鈴木 麻未 用務員 阿部 信行 自動車運転技師 岡崎 幸雄	主任 阿部 正文 主事 伊藤 真一	・職員の給与、福利厚生 ・庁舎内外の管理、整備 ・公用車の管理、運行
	主査兼財政係長 長岡 信之		・財政計画、予算 ・町有財産の管理、運用 ・入札
	文書研修係長 阿部喜栄治		・文書の收受、印刷、発送 ・職員研修・情報公開 ・選挙事務・区長会

農林課 (庁舎二階) ☎67-2114

課長 渡辺 隆生	農政係長 堀 幸雄(兼)	主任 高橋さだ子	・農政全般 ・農業制度資金 ・中山間直接支払事業 ・農作物の災害対策 ・りんご産業全般 ・果樹組合連絡会議事務局
課長補佐 阿部 和夫 堀 幸雄	主査 川口 幸男 (りんご振興担当)	主事 伊藤 雅樹 主事補 海野 淳(新採)	
事業係長 大谷 武一	主任 花山 護	主任(技師) 鈴木 良浩	・農業農林整備全般 ・農林災害復旧工事 ・林務事業全般 ・有害駆除、飼養許可
主査兼林務係長 佐藤 敏行	主任 鈴木 良浩		・農林振興の調査、研究 ・りんご資料館、世界のりんご園の管理、運営
農業研究所主任研究員 渡辺 政一 ☎67-2890			

収入役室 (庁舎一階) ☎67-3301

室長 佐藤 仲寛	主任 齋藤 文子	・出納業務・決算 ・朝日町全図の販売
-------------	-------------	-----------------------

税務課 (庁舎一階) ☎67-2107

課長 海野 正基	町民税係長 鈴木 高敏	主任 井上智恵美	・町県民税、国民健康保険税、軽自動車税、入湯税、たばこ税等の賦課、徴収、相談・介護保険料の徴収
課長補佐 柴田 忠		主事 鈴木 直美	・納税証明書、所得証明書など税証明書の発行
	主査兼固定資産税係長 鈴木 康宏	主任 畑 英俊	・固定資産税の評価 ・土地家屋台帳の管理保管 ・固定資産税証明書など税証明書の発行
	地籍調査係長 長岡 利光	主任(技師) 長岡 浩利	・地籍調査
		主事 阿部早百合	
		主事 白田 征治	

企 画 課			建 設 課		
(庁舎二階) ☎67-2112			(庁舎二階) ☎67-2115		
電算係長 清野 雅英	主事 小野 康仁	・電算システムの開発、管理、保護	主査兼維持係長 長岡 典巳	主任 阿部 富子	・道路、橋、河川の管理、 占用、制限区域指定 ・用地交渉、買取、登記 ・町営住宅の維持管理
県派遣	主事 岡崎 国宏	・県環境企画課へ派遣	主査兼定住係長 佐竹 長司	主任 佐竹 政子	・定住、後継者対策 ・住宅団地の分譲
近衛 智之		・県地方課へ派遣	主査兼地域振興係長 橋間 友則	主事 阿部 忠之	・統計調査
企画広報係長 富樫 清志(兼)	主事 藤沢 美子	・各課との連絡調整 ・広域行政事務 ・難聴対策等の情報化計画 ・広報紙、お知らせ板発行	課長補佐 富樫 清志		・町総合発展計画 ・過疎、山振、辺地計画 ・コミュニティ助成事業 ・志藤六郎村おこし基金 ・エコミュージアムの推進
課長 長岡 重利			課長 渡辺 吉助	工務係長 渡辺 和之	・土木災害復旧工事 ・区道の整備
			主査兼都市計画係長 阿部 弘美	主任(技師) 鈴木 俊治	・都市計画・大谷集落排水 ・合併処理浄化槽 ・公用車の管理、運行 ・町道の管理、除雪
			車両管理係長 武田 光雄		

町 民 課			商 工 観 光 課			健 康 福 祉 課		
(庁舎一階) ☎67-2119			(庁舎一階) ☎67-2113			(庁舎一階) ☎67-2116		
課長 武田 正	戸籍年金係長 佐竹三保子(兼)	主任 大沼八代子	課長 菅井 博	商工労政係長 成原 孝一(兼)	主任 長岡 昌子	課長 鈴木 正則	福祉係長 白田 久寿	主任 齊藤ひとみ
課長補佐 佐竹三保子		主事 阿部かつる	課長補佐 成原 孝一	観光係長 佐竹 壽美	主任 鈴木 滝子	主事 長岡 由佳		主事補 長岡 由佳
熊谷 貞則		主事 阿部 祐子	課付係長 遠藤 憲一		主事 佐藤 修			
	防災係長 熊谷 貞則(兼)	主事 安達 和史		生活環境係長 菊地 洋一				
		交通安全指導専門員 鈴木 明美(嘱託)		課付係長 遠藤 憲一				
		・戸籍、転入転出、印鑑証明、外国人登録などの受付、相談						
		・戸籍謄抄本、住民票、身分証明書などの発行						
		・人権擁護の相談						
		・国民年金の受付、相談						
		・消防団						
		・交通安全						
		・山岳遭難						
		・自衛隊・日本赤十字社						
		・ごみ処理、公害対策						
		・総合交通(町営バスなど)						
		・衛生組合						
		・墓地管理						
		・へい獣処理、狂犬病予防						
		・商工業の振興						
		・消費者行政						
		・観光の振興						
		・各種イベントの開催						
		・観光協会、山岳会事務局						
		・身体、知的障害者福祉、母子父子家庭の福祉、児童福祉、老人福祉などの受付、相談						
		・児童手当						
		・生活保護						
		・行政相談・児童民生委員						
		・生産者活動センター						





保育園			
介護保険係長 若月加代子 主事 伊藤 博美 主事 熊谷 忍 ・介護保険の受付、相談	主査兼国保医療係長 阿部 則雄 主事 阿部 正樹 業務員 鈴木美江子 ・国民健康保険 ・老人保健・医療福祉 ・高額医療、退職者医療、老人、乳児、母子、重度心身障害者医療証などの受付、相談	保健指導係長 今野 智子 主任（保健婦） 加藤 静代 主任（保健婦） 佐竹 文子 保健婦 太田 律 ・各種検診、各種予防接種 ・保健相談、指導 ・結核、感染症予防 ・健康づくり事業の開催 ・献血 ・母子手帳の交付	在宅介護支援センター 係長 村山 敏子 67-3701 ・在宅介護の支援、相談、指導
さゆり保育園長 高沢きく子 さゆり保育園副園長 宮本千代子 67-3467 主任保育士 小川美江子 主任（保育士） 白田 清子 主任（保育士） 菅井 睦子 保育士 白田 真紀 調理師 武田クニ子	ふたば保育園長 阿部 幸子 主任保育士 大井 恵子 主任（保育士） 菊地 千代 保育士 佐藤 弘美 伊藤美恵子 調理師 佐竹 敏子	わかば保育園長 海野優恵子 68-2123 主任保育士 松田 敬子 主任（保育士） 熊谷三枝子 保育士 峯田 幸子 調理師 清野 典子	

教育委員会生涯学習課			
課長 勝男 阿部 勝男 主査兼生涯学習係長 長岡 茂 主任 小関 典子 主事 阿部 容一 ・生涯学習の推進 ・町立図書館の運営 ・エコミュージアムコアセンター「創造館」の管理 ・芸術文化の振興	課長 淳一 若月 淳一 主幹兼指導主事 長岡 信悦 庶務兼学校教育係長 花山 芳文 主任 白田 和子 外国語指導助手 セーラ ウエルズ ・学校教育 ・幼児学級 ・町育英会事務局 ・転校などの受付	課長補佐 最上俊一郎 立木小学校 西五百川小学校 上郷小学校 宮宿小学校 送橋小学校 水本小学校 和合小学校 大谷小学校 大沼分校 朝日中学校 用務員兼調理師 阿部 玲子 調理師 安藤 孝子 調理師 小林たみゑ 調理師 熊谷 尚子 用務員 鈴木 敏一 調理師 鈴木 和子 用務員兼調理師 村山真由美 調理師 遠藤 房子 調理師 和田みよし 用務員兼調理師 松田 篤子 用務員 近衛美智永 ・教育研究所の運営 ・教育相談、指導	主査兼体育振興係長 今野 幸昭 主事 早坂 健一 ・社会体育の推進 ・スポーツ少年団事務局 ・体育協会事務局

水道事業所

(消防朝日分署となり)

☎ 67-3570

所長 阿部 忠男 課長補佐 清野 正幸 鈴木 清	業務係長 清野正幸(兼)	技術士 今井 一成	・水道事業の運営 ・水道料金の徴収
工務係長 鈴木 清(兼)	主任(技師) 長岡 勉	・水道施設の維持管理	

町立病院

☎ 67-2125

院長(内科) 小林 達	外来婦長 粕谷 純子(兼)	看護婦 鈴木 幸代 鈴木 正子 今井 裕美 佐藤みどり(在宅医療担当)	児珠はつえ
副院長(内科) 井上 隆	病棟婦長 佐藤久美子	大江 一子 白川由美香 鈴木美保子	鈴木美保子
副院長(外科) 蜂谷 修	病棟主任看護婦 長岡 浩子	鈴木 智子(新採) 菊池小夜子(新採) 五十嵐圭子(新採)	鈴木 弘子
総婦長 粕谷 純子	安藤由紀子 在宅医療主任看護婦 鈴木恵美子	阿部佐千子 松田タツ子 渡辺 妙子	今井さち子
事務局長 阿部 浩	薬局長 石黒 篤子	薬剤師 大江 春美	
事務長補佐 小川 澄夫	X線技師長 葛蒲 潤司	臨床検査技師 村山 陽子 岡崎まゆみ	
	検査室	臨床検査技師 臨床検査技師	
	療法室	作業療法士 清野 敏秀 理学療法士 高橋 陽子	
	給食室	主任栄養士 成原 千枝 調理師 佐竹 幾子	
	主査兼庶務係長 安藤 一夫	調理師 熊谷 由香 調理師 滝川 久恵	
	医事係長 小川 澄夫(兼)		・職員の給与、福利厚生 ・病院内外の管理、整備 ・診療費の請求、収納 ・診断書発行の受付



議会事務局

(庁舎三階)

☎ 67-3306

事務局長 相座 孝雄 事務局長補佐 豊嶋 茂憲	庶務係長 豊嶋 茂憲(兼)	主任 池田さち子	・議会の運営、記録 ・各委員会の運営 ・請願、陳情 ・監査事務
----------------------------------	------------------	-------------	--

農業委員会事務局

(庁舎二階)

☎ 67-3307

事務局長 渡辺隆生(併) 事務局長補佐 阿部和夫(併)	主査兼農地調整係長 清野 直治	主任 高取 照子	・農地の取得、異動転用 ・農地取得資金、融資 ・農地相談 ・農業者年金の受付、相談
--------------------------------------	--------------------	-------------	--

社会福祉協議会事務局

(宮宿郵便局となり)

☎ 67-2465

事務局長 鈴木 千良			・長寿クラブ ・共同募金 ・身体障害者協会
---------------	--	--	-----------------------------

退職

平成十二年三月三十一日付

健康福祉課長(ふれあい荘長へ) 農業委員会事務局農地調整係主任	齊藤 宇八 幸子	町民課主査兼戸籍年金係長 町立病院内科医長	伊藤 悦子 山科 明夫
------------------------------------	-------------	--------------------------	----------------

新採

よろしく
お願いします



井上 隆



海野 淳



鈴木 智子



菊池小夜子



渡辺 梓



五十嵐圭子

三月定例町議会

議 会

三月定例町議会が三月九日から十七日まで開会されました。一般会計補正予算、エコミュージアムコアセンター「創遊館」の設置及び管理に関する条例の制定、介護保険条例の制定、町営バスの利用料金を町内均一とする町路線バス設置及び管理に関する条例の改正など五十四議案が上程され、すべて原案どおり可決されました。

また、四月四日に臨時議会が開かれ、宮宿左沢間路線バス利用拡大助成金交付条例の制定など五議案が可決されました。

一 町政報告

【総務課】

行財政改革大綱は、数値目標や職員の人材養成計画を加えるなどの改定作業を進め、おおむね五年を目標に策定しました。

【企画課】

朝日分校跡地の問題は、これまで無償譲渡を受けるよう県と協議を進めてきましたが「朝日町に無償譲渡した場合、他の類似物件に及ぼす影響が大きく、譲渡ではなく無償貸与としたい」との申し入れがありました。現段階では、無償貸与の契約でも止むを得ないものと考えていま

すが、今後、無償譲渡および県有施設の誘致も含めて強く要望していきます。

【税務課】

固定資産税は、三年毎の評価替えにともなう賦課作業中です。税のさらなる公平性と信頼性を保つよう努力していきます。

【町民課】

二月一日現在の住民登録人口は九、六三一人で、昨年と比較すると一六四人の減。また、平成十一年中の出生数は五九人。昨年に比べ一八人減少しており、少子化が進んでいます。

消防防災関係は、平成十一年中の火災発生件数は五件で、昨



年より一件の減となりましたが、家屋の全焼が一件あったため、損害額は大幅に増加しました。

【健康福祉課】

雪にともなう高齢者世帯への対策として、民生児童委員とホームヘルパーの巡回訪問のほか除雪費の助成を行いました。一回当たり八千二百円を三十回分交付しました。

【商工観光課】

木材製品利用住宅建築奨励助成金制度については、二月末現在十七件の申請があり、うち八件について助成金を交付しました。今後さらに周知を図り、利用促進を図っていきます。

「朝日町雇用対策協議会」の

名称を「朝日町雇用創生協議会」に変更することになりました。町観光基本計画の策定については、第四次朝日町総合発展計画に基づき、民間の策定委員会を設置し、進めているところです。

【農林課】

平成十二年度の新規事業「中山間地域等直接支払制度」については、今後対象地域の耕作者に対し、制度のくわしい説明を行いながら進めていく予定です。長根農免農道の西船渡八ツ沼間（延長約一、六〇〇m）については十二月末から供用を開始しており、中山間地域総合整備事業の能中揚水機は、三月末に完了する予定です。

【建設課】

二月中旬以降からの断続的な大雪により、除雪車両十五台をフル稼働させて交通確保に努めてきました。今後は、二種路線および申請のあった農道の除雪を行い、農作業などに支障が生じないようにしていきます。

道路新設改良については、小原大隅線の第二工区（下層路盤工）を発注しています。

また、和合バイパス工事については、地権者との話し合いも順調に進んでおり、できるだけ早くバイパスを供用できるよう、

今後とも努力します。

合併処理浄化槽は、今年度四十八基が設置されました。

【病院事業】

四月より介護保険制度が施行されるにあたり、指定居宅介護支援事業者の認定を一月四日付けで受けました。今後、介護計画の作成および訪問看護、訪問リハビリなどのサービスを、要介護者に提供していきます。

山形大学医学部第二内科の内示があり、四月一日付で山科明夫内科医長が金山町立病院へ異動となり、代わって県立中央病院から井上隆医師が赴任されることになりました。井上医師には長期間勤務していただけたことになっています。

整形外科医の招へいについては、現在県からの派遣内示を待っているところです。

【水道事業】

今年度予定している諸事業については、大沼急速ろ過設置工事を除き予定通り完成しました。

【管理課】

小学校施設再編整備計画の推進状況については、これまで、立木、水本、和合、送橋、上郷小学区で教育座談会を開催してきました。各学区から共通して出された問題点は、今まで培われた地域の文化の灯が消えるこ

通院、通学に バスをご利用ください



■問い合わせ先／役場町民課 ☎67-2119

① 町営バスの利用料金が町内均一になりました

- ◆運賃／大人（高校生以上）1回 200円
小人（中学生以下）1回 100円
- ◆回数券／運賃は、お得な回数券をご利用ください。
200円回数券（11枚綴り）1冊 2,000円
100円回数券（11枚綴り）1冊 1,000円

販売先は、役場町民課、西部公民館、北部公民館、町立病院、町営バス車内の5カ所。なお、これまでの回数券はそのまま利用できます。

- ◆定期券／定期券の割引はこれまでと同じです。
- ◆その他／身体障害者手帳をお持ちの方は、これまで同様半額で乗車できます。

② 宮宿左沢間路線バス利用拡大助成金を 交付します

山交バス宮宿左沢間の利用拡大並びに高校等通学費用負担の軽減を図るため、助成金を交付します。

交付対象者・・・町内に住所を有する高校生および専門学校生（18歳以下）で、通学のために、山交バスの定期券を購入する方。（1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、12ヶ月いずれの定期券でも可）

助成額・・・定期券購入区間のうち、宮宿待合所から左沢待合所までの区間の定期購入額の30%以内。（平成12年4月1日から適用になります）

申請手続き・・・役場町民課または西部公民館、北部公民館で受付しますので、次のものをお持ちください。

- イ．定期券の写し（1通）
- ロ．印鑑
- ハ．保護者名義通帳の口座番号の控え

③ 各交通機関が接続なります

町営バスが山交バス（宮宿～左沢）の始発に接続なります

試行 (増便)	町営バス	立木線 立木発(松程経由)午前6時00分
		上郷線 大瀬発 午前6時05分
		山交バス宮宿待合所着 午前6時20分
現行	山交	宮宿待合所発 午前6時25分
		左沢待合所着 午前6時50分
現行	JR	左沢駅発 午前7時04分
		(山形駅着) 午前7時50分

- ◆試行期間／4月10日(月)～約2ヶ月間
- ※乗車人数が平均5人未満の場合は運行を再検討します。

JR左沢駅17時56分着の列車と山交バス（左沢～宮宿）が接続なります

現行	JR	山形駅発 17時15分
		寒河江駅発 17時42分
		左沢駅着 17時56分
		山交バス側のご配慮により宮宿行17時55分発の便を数分間待機してから出発することになります
改正	山交	左沢待合所発(宮宿行)
		山交バス側のご配慮により宮宿行17時55分発の便を数分間待機してから出発することになります

とは地域崩壊につながる「学校跡地はどうなるのか」「小さい学校から大きい学校へ移った時の児童の不安」などでした。

これらを踏まえて、二月九日に教育委員協議会を開催し、各学区より出された事項などについて協議し、確認事項をまとめました。今後も地域住民との話し合いを行い、各学区の問題点を明らかにしながら進めていきます。

【生涯学習課】
エコミュージアムコアセンタ「創遊館」建設工事の状況について、本体工事はほぼ順調に進み約八五%の進捗率となっていますが、十月に増工事として発注した外構工事は、十二月以降の大雪などにより工期を延長

し、変更契約を締結しました。オープン式典については、六月五日に開催を予定し、諸準備に入っています。

し、変更契約を締結しました。オープン式典については、六月五日に開催を予定し、諸準備に入っています。

介護サービスの内容

▼訪問介護（ホームヘルプ） ホームヘルパーが家庭を訪問。身体介助や家事のお手伝いをします。

▼訪問入浴介護 入浴車で家庭を訪問。入浴の介助を行います。

▼居宅医療管理指導 医師、歯科医師、薬剤師等が家庭を訪問。療養上の管理や指導を行います。

▼訪問看護 看護婦等が家庭を訪問。看護や機能訓練を行います。

介護サービスを受けるまでの流れ

【申請】本人や家族の方（指定機関の代行も可）が、役場健康福祉課介護保険担当窓口で、要介護認定の申請を行います。

【訪問調査】介護支援専門員が家庭を訪問して、心身の状態などを調査します。また、主治医からの意見書もいただきます。

【要介護認定】調査の結果と医師の意見書をもとに、寒河江市西村山郡介護認定審査会が、介護の必要度などを総合的に審査します。「自立」と認定されたら、介護保険のサービスを受けることはできません。

【介護サービス計画の作成】「要支援」「要介護」に認定されると、介護支援専門員が本人や家族の希望に添った介護サービス計画（ケアプラン）を作成します。作成料は無料。

【介護サービスを開始】一割の自己負担で、その人にあつた介護サービスが利用できます。

介護保険制度とは

とは

「介護を必要とする人が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、社会全体で支えていこう」という社会保障制度。四十歳以上の人全員が毎月保険料を納め、寝たきりや痴呆などにより介護が必要になった時や日常生活上の支援が必要になった時に、状況に応じて保健・医療・福祉の総合的なサービスを受けるというものです。

朝日町民の介護保険は、徴収した保険料と国や県、町で負担する公費をもとに、朝日



町立病院でリハビリに励むみなさん

介護保険制度 スタート

四十歳以上の人が納める保険料などをもとに「介護の必要な人を社会全体で支えていこう」という介護保険制度が、四月一日から始まりました。

今回は、先の三月定例町議会で決定した町の保険料を中心にお知らせします。

4月1日
施行

町が運営します。 保険料 について

65歳以上の方の
基準月額額は2,440円

■65歳以上の方
（第一号被保険者）

六十五歳以上の方の保険料は、朝日町が定めます。

三月定例町議会で町介護保険条例が可決され、保険料の基準月額が二千四百四十円に決まりました。この保険料は

一律ではなく、住民税や所得に応じて五段階に分けられています。【図①】

保険料の納め方は二種類で、年額十八万円以上の年金を受けている方は、年金から天引きされます。それ以外の方は、町が送付する納付書で納めていただくことになりました。

しかし、新しい制度や負担に慣れていただくために「平成十二年四月から九月までの半年間は徴収しない」「平成十二年十月から平成十三年九月までの一年間は半額徴収」という特別措置がとられることになっています。【図②】

■40歳以上65歳未満の方
（第二号被保険者）

四十歳以上六十五歳未満の方の保険料は、社会保険や国民健康保険など加入している医療保険によって異なります。保険料の半分は、原則として事業主（国民健康保険は国）が負担することになっており、個人が納める月額額は、社会保険や共済組合で平均千五百五十円、健康保険組合で平均千九百七十円、国民健康保険加入者は、千三百円程度になる予定です。保険料は、医療保険料とともに四月から納めていただくこととなります。

▼訪問リハビリテーション 理学療法士、作業療法士等が家庭を訪問。機能訓練を行います。

▼通所介護（デイサービス） 特別養護老人ホーム等に通い、入浴や食事の提供等を受けます。

▼通所リハビリテーション（デイケア） 病院や老人保健施設等に通って、機能訓練を受けます。

▼短期入所生活介護、短期入所療養介護（ショートステイ） 特別養護老人ホームや老人保健施設等に短期間入所し、身体介助や機能訓練を受けます。

▼福祉用具貸与 介護用ベッドや車いす、歩行器などが借りられます。

▼居宅介護福祉用具購入 入浴や排せつ用具等の購入費（基準額の九割）が支給されます。

▼居宅介護住宅改修 手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修費（基準額の九割）が支給されます。

▼痴呆対応共同生活介護 痴呆の要介護者が、小人数で共同生活を行いながら、身体介助や機能訓練を受けます。

▼特定施設入所生活介護 有料老人ホームや軽費老人ホーム（ケアハウス）の入所者が、身体介助や機能訓練などを受けます。

施設サービス

特別養護老人ホームや老人保健施設、介護体制の整った医療施設等の施設に入所して介護を受けます。

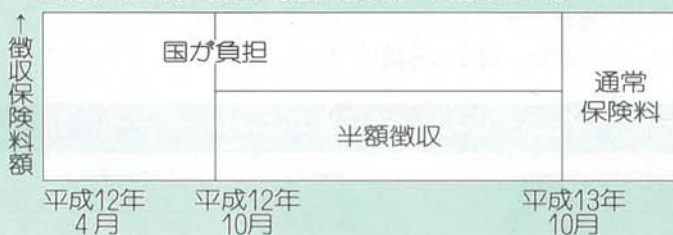
【図①】 65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料

朝日町の保険料の基準額は月額2440円で、額は住民税や所得に応じて5段階になります。

基準額				
生活保護や老齢福祉年金の受給者の方（住民税非課税世帯）	世帯全員が住民税非課税の方	本人が住民税非課税の方	年間所得が250万円未満	年間所得が250万円以上
基準額×0.5	基準額×0.75	基準額	基準額×1.25	基準額×1.5
1220円	1830円	2440円	3050円	3660円

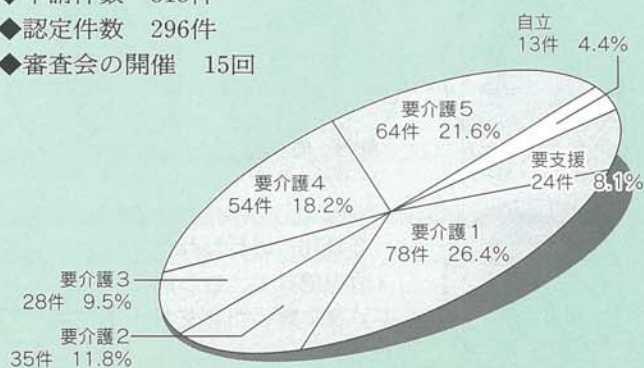
【図②】 保険料徴収の特別措置

65歳以上の方（第1号被保険者）が対象です。



【図③】 要介護認定の申請と結果の状況（平成12年3月31日現在）

- ◆申請件数 315件
- ◆認定件数 296件
- ◆審査会の開催 15回



介護サービスを受けるには

（朝日町国民健康保険加入者は、町が送付する納付書に基づいて、税金と一緒に納めていただくことになります）

介護保険のサービスを受けるには、要介護認定の申請をしなければなりません。三月末までに申請を行った方は三百十五人。このうち、二百九十六人が「寒河江市西村山郡介護認定審査会」の認

町独自の支援事業を実施

町では、要介護認定を受けて「自立」と認定され、介護

定を受けました。【図③】この結果、「要支援」や「要介護」の認定を受けた方は、介護サービスの計画（ケアプラン）に添った介護サービスが四月から利用できることになります。なお、介護サービスを受ける手続きの流れや内容は、上記のとおりです。

保険のサービスを受けられない方に対し、次の事業を行います。《デイサービス》《ホームヘルプサービス》《ショートステイ》このほか、介護保険制度にないサービス在宅高齢者福祉事業として実施します。これからも介護を必要とせず、健康で生活できるよう支援するもので、介護保険の要介護認定を受けない方でも要件を満たしていれば利用できるサービスです。

《ふれあい給食サービス》《車椅子移送車貸与》《寝具洗濯サービス》《訪問理美容サービス》《老人家庭除雪費助成》《紙おむつ支給》《愛のベル支給》など。これら町独自の支援事業は、介護保険に準じて、利用料金や回数が設定されていますので、詳細についてはお問い合わせください。

■介護に関する質問や相談先 役場健康福祉課

☎67-2116

まちの話題

① 平成11年度 朝日町体育協会表彰式



栄光をたたえて 68回を表彰

3月22日に町中央公民館で、朝日町体育協会の表彰式が行われました。

スポーツ分野で活躍された方々を毎年表彰しているもので、平成11年度は次のみなさんが受賞されました。

(順不同、敬称略)

◆奨励賞

前田沢公民館

清野 文一 (四ノ沢)

◆殊勲賞

清野 弥生 (古楨・剣道) 菅井 充 (小原・バスケ)

鈴木 明人 (大谷四・剣道) 小林 透佳 (大沼・剣道)

村山 晃規 (大谷七・剣道) 鈴木 聡 (本町・剣道)

阿部 拓也 (西原・剣道) 白田 梓 (大谷三・剣道)

保利有希子 (大谷六・水泳) 志藤 雄人 (川通・陸上)

佐藤季莉佳 (新宿・柔道)

朝日中女子柔道部

(佐藤季莉佳、成原由香、長岡明日香、児珠 藍、佐藤裕美)

朝日中男子剣道部

(白田憲彦、石井康博、渡辺孟志、村山豪信、志藤智之、小林 傑、小林陽介)

朝日中女子剣道部

(海野祐子、渡辺奈美、清野 彩、清野智美、渡辺未咲、渡辺知美、白田恭子)

◆優秀賞

鈴木 香菜 (大町・陸上)

清野友理子 (送橋・卓球) 清野友麻子 (送橋・卓球)

高橋 貞夫 (常盤・グラウンドゴルフ)

鈴木 藤七 (西町・卓球)

送橋剣道スポーツ少年団

(大滝裕司、岡崎未来、岡崎能行、清野寛希、渡辺拓真、岡崎寛彩樹、向 和樹、長岡儀英、岡崎真成)

(清野友麻子、渡辺ちひろ、清野美奈、岡崎里沙、清野友理子、清野由依、清野支麻)

大谷ジュニア剣道スポーツ少年団

(白田隆典、白田祥史、佐藤大地、長岡祥平、堀 敏也、村山 仁)

◆功労賞

渡邊 武志 (送橋)

② むし歯ゼロ賞



樋口 諒くん
(本町・義一)



伊藤拓也くん
(助ノ巻・正昭)



長岡帆乃佳ちゃん
(大町・浩之)



松本佳久くん
(大町・敏行)



高橋奈々子ちゃん
(大町・俊浩)



鈴木健太くん
(前田沢・吉浩)



佐藤花菜ちゃん
(前田沢・欣治)



長岡拓哉くん
(前田沢・秀昭)



近藤大樹くん
(四ノ沢・裕明)



阿部真琴ちゃん
(八ッ沼・忠之)



長岡 朗くん
(太郎三・雅彦)



佐竹勇太くん
(松程・政昭)



白田翔志樹くん
(大谷二・敏美)



加藤南美ちゃん
(大谷六・正幸)



遠藤優佳ちゃん
(真中・和春)



志藤洋一くん
(栗木沢・政尚)

2月16日に行われた
3歳児健診で、むし歯
ゼロ賞に輝いたお友だ
ちです。





■ 3月1日～31日届出



すこやかに

(出生届)

区名	出生児氏名	性別	保護者名
大町	長岡 知 ^{ともひろ} 緩	男	和 広
沼向	菅井 志 ^{しほ} 保	女	聡
助ノ巻	鈴木 新 ^{にい} 菜	女	穰 治
栄町	朽木 大 ^{だいすけ} 輔	男	憲 一
大谷六	長岡 優 ^{ゆうと} 斗	男	芳 徳
西原	阿部 健 ^{けんた} 太	男	英



おしあわせに

(婚姻届)

渡 邊 淳	庄 司 圭井子
(送 橋)	(山形市)
白 田 隆 彦	安 部 恵 子
(平)	(長井市)



やすらかに

(死亡届)

区名	死亡者氏名	世帯主
沼向	鈴木 まつゑ	政 光
西船渡	鈴木 とくゑ	茂 利
大谷二	白田 孝 一	孝
沼向	佐藤 トヨ	金治郎
西町	布施 みよゑ	次 男
大暮山	阿部 源太郎	健一郎
石須部	長岡 啓 治	ゆき子
松 程	白川 みつゑ	悦 雄
川 通	志藤 六 郎	勝 利
大 隅	鈴木 要 一	芳 男
大谷四	本 木 亀 一	本 人

●掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成12年3月31日現在

人 口

9,608(減 18)
男 4,774(減 9)
女 4,834(減 9)

世帯数

2,585(減 2)
() 内前月比

③ 県「伝承の匠」知事表彰受賞

職人の優れた技 守り伝えて60年

去る2月25日、平成11年度山形県「伝承の匠」知事表彰式が県庁知事



室で行われ、夏草の阿部正一さんが受賞されました。

この賞は、優れた技を持ち、その伝承に尽力された木造住宅建築技能者を表彰し、後継者の育成促進を図ろうと、平成3年度に創設されたものです。

阿部さんは14歳の時、家業を受け継ぎ大工に。以来60年間で11人の職人を育成するとともに、町建設総合組合長を15年間務められるなど、木造住宅建築の発展に尽力されてきました。「多くの仲間を支えられ、ここまでやってこれました。これからも、木のぬくもりや温かさを生かした木造建築の技を若い職人に伝えていきたい」と、阿部さんは受賞の喜びを語ってくれました。

④ 環境やまがた推進ネットワーク西村山地域賞受賞

物を大切に思う心を 育てる資源回収事業

地域環境保全の普及啓発活動や実践活動などを行い、一定の成果が認

められた個人や団体に贈られる「環境やまがた推進ネットワーク西村山地域賞(代表:高橋和雄県知事)」。

平成11年度の授与式が3月24日、西村山合同庁舎で行われ、朝日町子ども会育成連絡協議会(岡崎正幸会長)が受賞しました。



⑤ 各種大会成績

ネットを挟んだ 熱い戦い

【町民インディアカ大会】

(3月12日/町民体育館)

- 1位 AIKストロング
- 2位 Double Black Diamondsゆた
- 3位 大ナマイトパディーズ

【町民バドミントンフェスティバル】

(3月26日/町民体育館)

◆団体戦Aブロック

- 1位 トンコレラIIIミレニウム
- 2位 アップルズ
- 3位 宮宿キッド

◆団体戦Bブロック

- 1位 上郷
- 2位 インチキルクターズミレニウム
- 3位 のんべえず

◆個人戦オープンダブルス

- 1位 笹原 智江・長岡 好
- 2位 阿部 容一・佐竹 秀文
- 3位 鈴木 政利・石塚 芳幸
- 〃 岡崎 国宏・小野 康仁

◆個人戦レディースダブルス

- 1位 木村 弘子・後藤 由佳
- 2位 峯田 幸子・志藤 貴子
- 3位 石塚留美子・佐藤智賀子
- 〃 成原 佳紀・成原早弓利

第11回 読書感想画 中央コンクール 奨励賞

「ガラスの花嫁」



製作者
遠藤 友美さん
(栗木沢)



第十一回読書感想画中央コンクール(全国学校図書館協議会、毎日新聞社主催)中学校の部で、栗木沢の遠藤友美さんが、見事奨励賞を受賞しました。

読書感想画とは、本を読んだの感想を絵に表現したもの。遠藤さんが読んだ「ガラスの花嫁(長崎源之助著)」は、戦争の最中に写真館で出会った幼い男の子と女の子の物語り。二人は、ガラス板(乾板のこと)に映し出されている結婚式の写真を見ながら将来の夢を語り合い、また会う約束をするが、女の子はその夜の空襲で死んでしまうという悲しいストーリーです。

「男の子が女の子を探して家を訪ねると、そこは一面焼け野原で、灰をかぶった黄金色のタンポポだけが咲いているという場面を描きました。下地に廃墟を描いた後、別の紙に白いドレスを着た花嫁を描き、壊れた夢を表すために、バラバラに切って張りつけました。男の子の悲しさを黒と白の二色で表現するのにとても苦労しました」と、遠藤さん。

三月に朝日中学校を卒業した遠藤さんは「受賞は、中学校生活の良い思い出になりました。高校では美術部に入りたい」と最後に笑顔で話してくれました。

▼四月一日、介護保険制度がスタートしました。今年度は全国で二七〇万人ほどが利用すると見込まれています。介護を必要とする人が安心して暮らせるよう導入された制度。高齢者福祉の柱になるものです。

また、六歳未満児を対象にチャイルドシートの着用が義務化されました。こどもを守る大切な命綱。正しく着用するようにしましょう。町では、チャイル

春 夏 秋 冬

編集後記

ドシートの導入に対し、補助金を交付しています。ぜひ活用ください。

▼役場内では、人事異動がありました。広報担当課が総務課から企画課へ変わり、担当者も原稿用紙とカメラを抱えて異動しました。今年度も町民のみなさんとの出会いを大切にしながら、心ふれあう広報紙づくりをめざしてがんばります。みなさんよろしくお願ひします。(F)



広報「あさひまち」は再生紙を使用しています。